

■e-黒板ニュース（第17号）：パソコン教室から普通教室へ

「特定非営利活動法人こがねいねっと」の根本秀政さんから、電子情報ボードを活用した授業のお知らせをいただき、本日（10月15日）、東京都府中市立府中第一小学校を訪問しました。

今日、見学させていただいた授業は、4年生の「総合的な学習の時間」で、パソコン教室での「ワープロソフトを使いこなそう」という情報教育の授業でした。授業の前に、校長先生とお話ことができました。そして、授業の後にはこの授業を支援されている根本さんにインタビューさせていただきました。電子情報ボードの有効性や要件（改善点・要望）などもお聞きすることができましたので、その一部を速報でお知らせします。詳細は、年度末に報告書の形でまとめさせていただく予定です。

みなさまからの「電子情報ボードを活用した授業」の予定や、実践報告・実践見学報告等のお知らせ&投稿をお待ちしています。

今号の目次：

=====
1. 学校訪問と授業見学：府中市立府中第一小学校の「総合的な学習の時間」
=====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。また、配信中止のご連絡もお願いします。

会員の皆様からの投稿もお待ちしています。
宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。
10月15日現在の会員数は182名です。

1. 学校訪問と授業見学：府中市立府中第一小学校の「総合的な学習の時間」

「こんにちは！」という子どもたちの元気な声で始まった学習名「ワープロソフトを使いこなそう」という授業では、電子情報ボードが普通教室だけでなく、パソコン教室でも有効な教具であり、逆にパソコン教室から普通教室に広がっていく可能性も感じました。

(1) 校長室

府中市立府中第一小学校

<http://members.jcom.home.ne.jp/fuchu01s/>

の教育目標は、「よく考える子 なかよくたすけあう子 つよいからだの子 心のゆたかな子」です。間瀬校長は、学校のホームページのご挨拶で「子どもたちは、大変明るく元気な子どもが多く、休み時間には広い校庭で元気いっぱい遊ぶ姿が見られます。」と書かれていますが、実際にその通りの小学校でした。校長室で、授業が始まるまでの時間、校長先生と根本さんのお話をうかがうことができました。そして、情報教育にも力を入れておられること、NPOなど地域の人達やお父さん・お母さんたちも授業に協力するTA授業が実施されており、その授業プランが資料化されていることにも感心させられました。

そうそう、校長室にはEスクエア・プロジェクト平成12年度学校企画の「委嘱状（楯）」が飾られていました。これも嬉しいことでした。

(2) 授業

「10月28日に予定されているアメリカンスクール（ASIJ）との交流会で使う名札を作ることを通し、日本語辞書（FEP）の出し方や入力方法の切り替えの仕方を理解する」というのが狙いで、ソフトとしては、「一太郎スマイル」が使われていました。

電子情報ボードは、先生がいろいろな操作を説明するのに使っておられました。

子どもたちは、それぞれが作った名札を印刷するところが一番嬉しかったようです。印刷指示をすると、みんなプリンターのところに飛んで行って、笑顔で持って帰ってきました。成果が形になるのがいいようです。そして、その名札は次の交流会のためのものであります。年間を通じた授業計画に基づいて実施されている授業。今日は、その一端に触れることができてよかったです。

(3) 電子情報ボードの有効性

根本さんは、

- ・子どもたちの視線を集中させる
- ・文字が書き込める
- ・パソコンを（電子情報ボード上で）直接操作できるので説明と操作が一人で行えるということが良いところだ。とおっしゃっていました。

たしかに、この授業を電子情報ボードなしでやったら、子どもたちを集中させたり、操作しながら説明したりするのはとても難しい技だと感じました。きっと、時間内に終わらせることはできなかったと思います。

また、

・画面を保存できる。そして、それを呼び出して再利用もできる
ということもメリットとしてあげておられました。

先生方は、日常的に電子情報ボードを使っておられるわけではないのですが、「この電子白板（電子情報ボード）を教室（普通教室）に持って行って使いたい」と言われていました。

子どもたちは、電子情報ボードを使っている先生の様子を見て、「先生が今までみたいに苦労していないネ！」と言ったりしているそうです。これは、先生が簡単に使いこなしていることを感じ取っているようです。

また、授業支援に参加されたT Aのお母さんが、「この機能はいいネ」と言われたということを根本さんから聞きました。

今回このように、先生・子どもたち、そして親御さんに、電子情報ボードの有効性を実感していただくことが、普及のためには最重要だと考えるようになりました。

（４）関連データ

根本さんがかかわられたプロジェクトとその成果物

○平成15年度のEスクエア・アドバンス「対話型電子白板利用授業における有効活用モデルの検討」

◆ダウンロード情報

http://koganei-net.org/e_square/e_square.htm

○Eスクエア・アドバンス

・平成13年度報告書

「対話型電子白板を活用した教育用ソフトウェア作成方法論の検討」
(東京農工大学)

<http://www.mbrain.com/e2/>

・平成15年度報告書

「対話型電子白板を利用した教育用ソフトウェアの有効活用モデルの検討」
(NPO こがねいねっと)

http://koganei-net.org/e_square/web_report/index.html

成果発表会レジュメ

http://koganei-net.org/e_square/web_report/resume.pdf

他に

○学習支援ソフトウェア

・漢字筆記学習ソフト 学習漢字をモザイク表示し、何の漢字が分かった段階で手書き文字により回答するアプリケーション

・熟語筆記回答ソフト 画面に出題された漢字を使って、熟語を作成・回答していくアプリケーション（改良版）

・正多角形と円 小学5年生用算数：図形描画のアニメーション表示を採り入れて、児童の概念理解を支援している

○Eスクエア・アドバンス参加外の学習支援ソフトウェア

・分数の掛け算タイル 小学校6年生で学習する分数の掛け算の理解を、視覚的にサポートする目的で作成

・栄養バランス 献立に含まれる栄養の成分表をつくり、グラフでバランスを確認する（小学校6年生向け）
がWeb公開されています。

http://koganei-net.org/e_square/e_square.htm

をご覧ください。

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一、南 仁
e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
e-黒板研究会 ホームページ： <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/>
=====